



## 平成27年8月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成27年4月9日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング 上場取引所 東  
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正  
 問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健 TEL 03-6865-0050  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日 平成27年5月11日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績（平成26年9月1日～平成27年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	949,684	24.2	150,077	40.2	163,666	48.0	110,971	56.7	104,753	56.2	183,633	140.5
26年8月期第2四半期	764,377	—	107,030	—	110,562	—	70,811	—	67,079	—	76,341	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	1,027.75	1,026.51
26年8月期第2四半期	658.28	657.52

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年8月期第2四半期	1,276,295	804,982	780,826	61.2	7,660.10
26年8月期	992,307	636,041	618,381	62.3	6,067.40

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	150.00	—	150.00	300.00
27年8月期	—	175.00	—	—	—
27年8月期（予想）	—	—	—	175.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 平成27年8月期の連結業績予想（平成26年9月1日～平成27年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650,000	19.3	200,000	53.4	211,500	56.1	130,000	63.9	120,000	61.0	1,177.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年8月期2Q	106,073,656株	26年8月期	106,073,656株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	4,139,473株	26年8月期	4,155,045株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年8月期2Q	101,924,560株	26年8月期2Q	101,901,611株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更 .....	4
3. 要約四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 継続企業の前提に関する注記 .....	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
4. 補足情報 .....	18
(1) 部門別売上実績 .....	18

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年9月1日～平成27年2月28日）の連結業績は、売上収益が9,496億円（前年同期比24.2%増）、営業利益が1,500億円（同40.2%増）、税引前四半期利益が1,636億円（同48.0%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が1,047億円（同56.2%増）と、増収増益になりました。全てのセグメントで増収増益を達成しており、特に、海外ユニクロ事業が大幅な増収増益となっております。なお、営業利益の増益幅に比べ、税引前四半期利益、及び親会社の所有者に帰属する四半期利益の増益幅が大きい理由は、2月期末の為替レートが期首に比べ、円安となったことから、外貨建資産などの換算差額が増え、金融損益を135億円計上したことによります。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No.1 アパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、「グローバル化、グループ化、再ベンチャー化」を進めております。特に海外におけるユニクロ事業に力を注いでおり、出店を加速する一方で、世界主要都市におけるグローバル旗艦店・繁盛店、大型店を出店し、ユニクロブランドの認知度を高め、事業の基盤強化を図っております。また、グローバルブランド事業においても、ジーユー事業、セオリー事業の積極的な事業の展開を図っております。

#### [国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第2四半期連結累計期間の売上収益は4,545億円（同12.1%増）、営業利益は894億円（同24.7%増）と、計画を上回る増収増益を達成いたしました。同期間の既存店売上高は同8.4%増と好調に推移しました。また、売上総利益率が同1.8ポイント改善したこと、売上販管費比率が同0.4ポイント改善したことから、営業利益は大幅な増益となりました。既存店売上高が増収となったのは、ヒートテック、ウルトラライトダウン、スウェットといった冬物コア商品の販売が好調だったこと、単価が比較的高いウールアウターやジーンズの販売好調によります。また、好調な販売を反映し、値下げロスが減少したことから、売上総利益率は前年同期比で改善いたしました。2月期末の国内ユニクロの直営店舗数はスクラップ&ビルドを進めた結果、814店舗（フランチャイズ店28店舗除く）と、前年同期末比18店舗減少しております。ただし、このうち9店舗は直営店からフランチャイズ店に転換したものです。2014年10月にはグローバル繁盛店の吉祥寺店とグローバル旗艦店のUNIQLO OSAKA、また、2015年3月には、ワンフロアで1,000坪を超える売場面積世界一の超大型店の札幌エスタ店をオープンし、地域に根ざしたマーケティングを強化、実施することで、地域密着型の店舗としてオープン時から継続して盛り上がりを見せております。

#### [海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第2四半期連結累計期間の売上収益は3,455億円（同48.9%増）、営業利益は428億円（同63.2%増）と、計画を上回る大幅な増収増益になりました。為替の影響を除いた現地通貨ベースでも、計画を上回る増収増益となっております。海外ユニクロ事業全体の2月期末の店舗数は716店舗、前年同期末比182店舗増となりました。エリア別の業績動向としては、グレーターチャイナ（中国・香港・台湾）及び韓国が計画を上回る大幅な増収増益を達成しております。東南アジア地区（シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン・インドネシア）及び欧州（英国・フランス・ロシア・ドイツ）は、ほぼ計画通りの増収増益を達成いたしましたが、オーストラリアは、初の春夏商売により販売が苦戦、赤字となっております。米国では、2月期末の店舗数が前年同期末比22店舗増の39店舗と出店ペースを加速したこと、秋冬販売の下振れによる粗利益率低下により、業績は計画を下回り、赤字幅が拡大いたしました。

#### [グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第2四半期連結累計期間の売上収益は1,482億円（同18.3%増）、営業利益は117億円（同23.4%増）と、計画通りの増収増益になりました。ジーユー事業については、計画を上回る増収増益を達成いたしました。スカート、ニット、冬物アウターといったキャンペーン商品の販売が好調だったこと、ジーユーベシックといった新しいカテゴリーの商品も順調に推移したことから、既存店売上高は増収となっております。セオリー事業とコントワー・デ・コトニエ事業は上期では計画を下回り、若干の減益、プリンセス タム・タム事業は計画通り前年並みの業績となっております。J Brand事業は計画を下回り、赤字幅が若干拡大しております。

[CSR（企業の社会的責任）活動]

当社グループのCSR活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。

2014年8月期のCSR活動をまとめた「CSRレポート2015」を、1月に発行いたしました。当社が優先課題として特定した4つの領域（生産・環境・コミュニティ・人材）について、活動報告や改善に向けた取組みを特集しております。多様なステークホルダーの皆様への説明責任とコミュニケーション促進のため、当社ウェブサイトにおいても積極的な情報開示を行っております。

お客様からユニクロとジーユーの商品をお預かりし、服を必要とする人々に届ける「全商品リサイクル活動」では、14の国や地域の店舗において、その数は累計3,530万点（2015年2月末現在）に達しております。2月には、弊社従業員がミャンマーのミッチーナ国内避難民キャンプを訪問し、現地の衣料ニーズや、約8万点に及ぶ既に寄贈済みの衣料の活用状況などを確認いたしました。

また、責任ある調達活動の一環として、パートナー縫製工場での「労働環境モニタリング」、素材工場での「環境モニタリング」を継続的に実施しております。従来実施していなかった素材工場に対する「労働環境モニタリング」も2月以降に順次開始するなど、今後も生産現場における労働者の雇用の維持と人権の尊重、適正な労働環境の維持に向けた活動を強化してまいります。

(2) 連結財政状態に関する説明

(当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、資本の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ2,839億円増加し、1兆2,762億円となりました。これは主として、デリバティブ金融資産の増加879億円、有形固定資産の増加164億円、現金及び現金同等物の増加1,488億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,150億円増加し、4,713億円となりました。これは主として、買掛金及びその他の短期債務の増加588億円、繰延税金負債の増加313億円等によるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ1,689億円増加し、8,049億円となりました。これは主として、その他の資本の構成要素の増加713億円、利益剰余金の増加894億円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前第2四半期連結会計年度末に比べ、1,039億円増加し、4,628億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、前第2四半期連結累計期間と比べ1,211億円増加し、2,240億円（前年同期比117.7%増）となりました。これは主として、税引前四半期利益1,636億円、仕入債務の増減額594億円及び法人税等の支払額403億円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ495億円増加し、740億円（前年同期比203.1%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出216億円、定期預金の増減額458億円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間と比べ17億円増加し、223億円（前年同期比8.3%増）となりました。これは主として、配当金の支払額152億円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績および下半期の計画を考慮し、以下のとおり修正いたします。

なお、平成27年1月8日付「平成27年8月期第1四半期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,600,000	180,000	180,000	108,000	100,000	981.18
今回修正予想 (B)	1,650,000	200,000	211,500	130,000	120,000	1,177.41
増減額 (B-A)	50,000	20,000	31,500	22,000	20,000	—
増減率 (%)	3.1	11.1	17.5	20.4	20.0	—
前期実績	1,382,935	130,402	135,470	79,337	74,546	731.51

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、UNIQLO Washington LLC を新たに設立したため、連結子会社に含めております。UNIQLO(Germany)GmbHについては、第1四半期連結会計期間において清算したため、連結子会社から除外しております。当第2四半期連結会計期間において、FAST RETAILING CANADA INC.、UNIQLO CANADA INC.、THEORY CANADA INC. を新たに設立したため、連結子会社に含めております。COMPTOIR DES COTONNIERS FRANCE S.A.S. については、COMPTOIR DES COTONNIERS S.A.S. (旧 CREATIONS NELSON S.A.S.) に吸収合併されたことに伴い、連結子会社から除外しております。A.M.B. S.A.S. については、PRINCESSE TAM TAM S.A.S. (旧 PETIT VEHICULE S.A.S.) に吸収合併されたことに伴い、連結子会社から除外しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 8 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成27年 2 月28日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	314,049	462,884
売掛金及びその他の短期債権	47,428	51,366
その他の短期金融資産	9,119	51,575
棚卸資産	223,223	210,989
デリバティブ金融資産	99,125	187,072
未収法人所得税	11,951	562
その他の流動資産	12,139	12,601
流動資産合計	717,037	977,053
非流動資産		
有形固定資産	114,398	130,866
のれん	26,715	28,370
のれん以外の無形資産	46,968	49,701
長期金融資産	71,293	73,864
繰延税金資産	11,257	11,613
その他の非流動資産	4,636	4,825
非流動資産合計	275,270	299,241
資産合計	992,307	1,276,295
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	185,119	244,016
デリバティブ金融負債	1,012	146
その他の短期金融負債	12,696	12,426
未払法人所得税	32,750	47,605
引当金	16,154	14,016
その他の流動負債	25,462	35,589
流動負債合計	273,196	353,801
非流動負債		
長期金融負債	27,604	27,592
引当金 (非流動)	7,694	9,392
繰延税金負債	37,387	68,694
その他の非流動負債	10,383	11,832
非流動負債合計	83,069	117,511
負債合計	356,265	471,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間末 (平成27年 2 月 28 日)
資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	9,803	11,389
利益剰余金	525,722	615,187
自己株式	△15,790	△15,733
その他の資本の構成要素	88,371	159,708
親会社の所有者に帰属する持分	618,381	780,826
非支配持分	17,660	24,156
資本合計	636,041	804,982
負債及び資本合計	992,307	1,276,295



(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	注記	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28日)
売上収益		764,377	949,684
売上原価		△386,888	△470,166
売上総利益		377,489	479,517
販売費及び一般管理費	2	△272,510	△336,333
その他収益	3	2,903	8,075
その他費用	3	△852	△1,181
営業利益		107,030	150,077
金融収益	4	4,028	14,123
金融費用	4	△496	△534
税引前四半期利益		110,562	163,666
法人所得税費用		△39,750	△52,694
四半期利益		70,811	110,971
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		67,079	104,753
非支配持分		3,731	6,218
合計		70,811	110,971
1 株当たり四半期利益			
基本的 1 株当たり四半期利益 (円)	5	658.28	1,027.75
希薄化後 1 株当たり四半期利益 (円)	5	657.52	1,026.51

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
四半期利益	70,811	110,971
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産	68	△689
在外営業活動体の換算差額	5,371	17,288
キャッシュ・フロー・ヘッジ	90	56,062
その他の包括利益合計	5,529	72,661
四半期包括利益合計	76,341	183,633
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	72,511	176,091
非支配持分	3,830	7,541
四半期包括利益合計	76,341	183,633

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
平成25年 9月 1日残高	10,273	6,859	481,746	△15,851	731	16,452
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	67,079	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	68	5,272
四半期包括利益合計	—	—	67,079	—	68	5,272
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△20	—	—
自己株式の処分	—	296	—	60	—	—
剰余金の配当	—	—	△15,284	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	859	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,155	△15,284	40	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,155	51,795	40	68	5,272
平成26年 2月28日残高	10,273	8,015	533,541	△15,810	800	21,725

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッ ジ	合計			
平成25年 9月 1日残高	70,215	87,399	570,428	19,298	589,726
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	67,079	3,731	70,811
その他の包括利益	90	5,431	5,431	98	5,529
四半期包括利益合計	90	5,431	72,511	3,830	76,341
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△20	—	△20
自己株式の処分	—	—	357	—	357
剰余金の配当	—	—	△15,284	△633	△15,917
株式報酬取引による増加	—	—	859	—	859
その他	—	—	—	△89	△89
所有者との取引額合計	—	—	△14,087	△722	△14,810
連結累計期間中の変動額合計	90	5,431	58,423	3,107	61,530
平成26年 2月28日残高	70,305	92,831	628,852	22,405	651,257

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
平成26年 9 月 1 日残高	10,273	9,803	525,722	△15,790	798	23,035
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	104,753	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△689	16,118
四半期包括利益合計	—	—	104,753	—	△689	16,118
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—
自己株式の処分	—	415	—	59	—	—
剰余金の配当	—	—	△15,287	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,170	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,585	△15,287	56	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,585	89,465	56	△689	16,118
平成27年 2 月 28 日残高	10,273	11,389	615,187	△15,733	109	39,154

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッ ジ	合計			
平成26年 9 月 1 日残高	64,536	88,371	618,381	17,660	636,041
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	104,753	6,218	110,971
その他の包括利益	55,908	71,337	71,337	1,323	72,661
四半期包括利益合計	55,908	71,337	176,091	7,541	183,633
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	—	474	—	474
剰余金の配当	—	—	△15,287	△1,226	△16,513
株式報酬取引による増加	—	—	1,170	—	1,170
その他	—	—	—	180	180
所有者との取引額合計	—	—	△13,646	△1,046	△14,692
連結累計期間中の変動額合計	55,908	71,337	162,445	6,495	168,940
平成27年 2 月 28 日残高	120,444	159,708	780,826	24,156	804,982

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
税引前四半期利益	110,562	163,666
減価償却費及びその他の償却費	13,980	17,784
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	6
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△2,155	△2,973
受取利息及び受取配当金	△327	△606
支払利息	496	530
為替差損益 (△は益)	△3,701	△12,724
固定資産除却損	107	265
売上債権の増減額 (△は増加)	2,153	△1,981
棚卸資産の増減額 (△は増加)	5,228	21,878
仕入債務の増減額 (△は減少)	△8,388	59,476
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,109	3,518
その他の負債の増減額 (△は減少)	2,740	3,213
その他	△1,609	△1,445
小計	122,183	250,610
利息及び配当金の受取額	306	478
利息の支払額	△501	△543
法人税等の支払額	△28,793	△40,366
法人税等の還付額	9,706	13,881
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,901	224,060
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△45,811
有形固定資産の取得による支出	△19,217	△21,678
有形固定資産の売却による収入	1,318	174
無形資産の取得による支出	△2,983	△3,426
敷金及び保証金の増加による支出	△2,855	△4,291
敷金及び保証金の回収による収入	264	1,589
建設協力金の増加による支出	△1,468	△1,228
建設協力金の回収による収入	850	905
預り保証金の増加による収入	148	20
預り保証金の減少による支出	△244	△47
その他	△232	△223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,419	△74,018

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△702	△1,067
長期借入金の返済による支出	△2,317	△2,954
配当金の支払額	△15,183	△15,234
非支配持分への配当の支払額	△633	△1,226
リース債務の返済による支出	△1,697	△2,244
その他	△139	330
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,672	△22,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,379	21,190
現金及び現金同等物の増減額	62,189	148,835
現金及び現金同等物期首残高	296,708	314,049
現金及び現金同等物期末残高	358,897	462,884

- (5) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは衣料品販売を主たる事業として、「国内ユニクロ事業」「海外ユニクロ事業」「グローバルブランド事業」を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業（衣料品）

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業（衣料品）

グローバルブランド事業：ジーユー事業、セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業（衣料品）

② セグメント収益及び業績の測定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度の「重要な会計方針」における記載と同一です。なお、当社グループでは報告セグメントに資産及び負債を配分しておりません。

③ セグメント収益及び業績に関する情報

前第2四半期連結累計期間（自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他	調整額	連結合計
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業				
売上収益	405,592	232,066	125,367	763,025	1,351	—	764,377
営業利益	71,724	26,264	9,513	107,502	17	△489	107,030
セグメント利益 (税引前四半期利益)	72,038	25,751	9,919	107,710	17	2,835	110,562

（注）「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他	調整額	連結合計
	国内ユニクロ事業	海外ユニクロ事業	グローバルブランド事業				
売上収益	454,502	345,504	148,254	948,260	1,423	—	949,684
営業利益	89,462	42,861	11,740	144,064	15	5,997	150,077
セグメント利益 (税引前四半期利益)	90,820	41,994	11,715	144,530	15	19,120	163,666

（注）「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。



2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28日)
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	32,439	35,520
地代家賃	71,401	86,814
減価償却費及びその他の償却費	13,980	17,784
委託費	10,040	13,813
人件費	88,045	110,986
その他	56,603	71,413
合計	272,510	336,333

3. その他収益及びその他費用

その他収益及びその他費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28日)
その他収益		
為替差益(注)	1,442	6,906
固定資産売却益	878	0
その他	582	1,167
合計	2,903	8,075

(注) 営業取引から発生した為替差損益はその他収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28日)
その他費用		
固定資産除却損	107	265
その他	744	915
合計	852	1,181

4. 金融収益及び金融費用

金融収益及び金融費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28 日)
金融収益		
為替差益 (注)	3,701	12,724
受取利息	324	572
受取配当金	2	34
その他	—	792
合計	4,028	14,123

(注) 営業取引以外から発生した為替差損益は金融収益に計上しております。

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 9 月 1 日 至 平成26年 2 月28 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 9 月 1 日 至 平成27年 2 月28 日)
金融費用		
支払利息	496	530
その他	—	3
合計	496	534

5. 1株当たり情報

前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)	
1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	6,153.37	1株当たり親会社所有者帰属持分 (円)	7,660.10
基本的1株当たり四半期利益 (円)	658.28	基本的1株当たり四半期利益 (円)	1,027.75
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	657.52	希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	1,026.51

(注) 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日)
基本的1株当たり四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	67,079	104,753
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株主に係る四半期利益 (百万円)	67,079	104,753
期中平均株式数 (株)	101,901,611	101,924,560
希薄化後1株当たり四半期利益		
四半期利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数 (株)	118,553	123,789
(うち新株予約権)	(118,553)	(123,789)

6. 後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前年同四半期 自 平成25年9月1日 至 平成26年2月28日		当第2四半期連結累計期間 自 平成26年9月1日 至 平成27年2月28日		(参考) 平成26年8月期	
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	168,293	22.0	183,861	19.4	292,574	21.2
ウィメンズ	197,065	25.8	214,610	22.6	354,721	25.6
キッズ・ベビー	23,321	3.1	34,580	3.6	40,052	2.9
グッズ・その他	10,494	1.3	11,149	1.2	16,700	1.2
国内ユニクロ商品売上合計	399,175	52.2	444,201	46.8	704,049	50.9
FC関連収入・補正費売上高	6,417	0.8	10,300	1.1	11,594	0.8
国内ユニクロ事業合計	405,592	53.0	454,502	47.9	715,643	51.7
海外ユニクロ事業	232,066	30.4	345,504	36.4	413,655	29.9
ユニクロ事業合計	637,658	83.4	800,006	84.2	1,129,299	81.6
グローバルブランド事業	125,367	16.4	148,254	15.6	251,225	18.2
その他事業	1,351	0.2	1,423	0.2	2,410	0.2
合計	764,377	100.0	949,684	100.0	1,382,935	100.0

- (注) 1 FC関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 グローバルブランド事業は、ジュー事業(「ジュー」ブランドの衣料品販売事業)、セオリー事業(「Theory(セオリー)」、「Helmut Lang(ヘルムート・ラング)」、「PLST(プラステ)」ブランド等の衣料品販売事業)、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM.TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 5 国内ユニクロ事業に含まれるダイレクト事業売上高(インターネット通信販売など)  
平成25年8月通期 24,235百万円、平成26年8月期第2四半期連結累計期間 15,176百万円  
平成26年8月通期 25,547百万円、平成27年8月期第2四半期連結累計期間 19,720百万円
- 6 上記金額には、消費税等は含まれておりません。